

小野谷機工のタイヤサービスリフト

エアパワーリフター「APL-3000」

小野谷機工はこのほど、新型のタイヤサービスリフト「エアパワーリフター APL-3000」を販売開始した。能力を3000キロにアップ、普通乗用車まで対応し、空気バネを4個に増やして安定性を向上。万が一、空気バネが損傷した場合でも、緊急下降操作バルブユニットで安全に下降できる。同社商品開発部・機器商品開発グループの武澤圭朗主任にお話を聞いた。(木本)

同社が展開しているため、空気バネを2個からタイヤサービスリフトと4個に増やすことにより、タイヤ交換のために、能力をこれまでの2倍にアップさせた。500キロから3000キロにアップさせ、普通乗用車も余裕でリフトアップさせることが可能になりました」と武澤主任は語る。

スロープは2段ステップ式となっており、低床車が乗り入れるときでも車両のバンプがスロープに干渉しない造りになっている。また、有効なホイールベースの長さを最大3420ミリまでとすることで、ロングホイールベース車両にも対応できる。

スロープのフロント部分分割式になっているのも工夫の一つ。奥行きが狭いピットで作業している店で使用する場合には、スロープの分割部分を取り外してしまえば、シャッターを閉める余裕ができる。使う場合はシャッターを開けた状態で分割したスロープを取り付けばOK。これまでAST2500を使って

APL-3000 と開発者の武澤圭朗主任

の時は延長アタッチメントの併用で対応する。低床車対応では、アタッチメントの受けの部分とスクリューネジの改良で、前モデルより10ミリ低い140ミリまで対応可能

安全・安心作業の味方 充実機能満載でデビュー

ジャッキアップした場合、車両下部に足を入れると事故につながる。サイド部分に安全バーを設置することにより、事故を未然に防止する安全設計となっている。

他にも、使わない時のアタッチメントの収納スペース、ホイールナットなどを収納する小物入れも装備している。

そして、空気バネが経年劣化した場合、めったに起きないケースだが、タイヤがバーストするようになり、緊急ストッパーが作動するのを防ぐ構造

車重3000キロまで対応



4個の空気バネで安定性向上



バランス確認用の水準器

造になってい 降ろしてしまいました。こちらの作業だと危ないというので、バルブユニットの簡単な操作だけで車両の下降が可能になりました」と武澤主任。万が一の時も安全なだけでなく、安心して車両を降ろせる充実の機能である。

開発で大変だった部分について武澤主任は「能力向上と安全を両立させる部分でした。空気バネを4つにしたことでリフトアップした際の安定性に地上に降ろせない状態

また、空気バネを従来の品2個から4個に増やしたことで、能力の向上だけでなく、車両の安定性がさらに増した。とはいえ、車の設置状況によっては車の荷重が前部のどちらかに偏って、リフトはエアでリフトアップしたものを車の自重で降ろす構造だが、下降時に不用意に

業者にとって助かる機能である。空気バネを増やしたことで、一つ一つのバネにかかる負荷も減少。設定空気圧を65kPaから40kPaに下げたことで耐久性を向上させた。



トラブル時もバルブ操作で安全

リフト下部に足を入れると事故につながる。サイド部分に安全バーを設置することにより、事故を未然に防止する安全設計となっている。

他にも、使わない時のアタッチメントの収納スペース、ホイールナットなどを収納する小物入れも装備している。

そして、空気バネが経年劣化した場合、めったに起きないケースだが、タイヤがバーストするようになり、緊急ストッパーが作動するのを防ぐ構造

追及し、バルブユニットの開発ではいかに安全に降ろすかという部分で開発し、試行錯誤した結果、たどりの着きました。」

「APL-3000」。パワー向上と安定性、緊急時の安全性を兼ね備えた新モデルがデビューした。ショップにとって魅力的なモデルの登場と言えそうだ。納期は2週間。問い合わせは同社本社(0778-22-2124)または各営業所まで。